

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO. 97 平成28年9月号

福岡アジア都市研究所は、
福岡市を中心に産学官が協力して
設立した研究機関です

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 6階

TEL : 092-733-5707 e-mail : library@urc.or.jp

タイトルバック：山崎三枝撮影

目次

◆URCニュース

①第3回ナレッジコミュニティ「中島、コンプリートしたってよ」開催予告・・・1

◆URCニュース

①第3回市民フォーラム「源氏物語と鴻臚館」開催予告・・・1
②久保上席主任研究員が日本建築学会大会で登壇・・・2
③国際研修受け入れ報告・・・2

◆URC資料室ニュース

第3回ナレッジコミュニティ「中島、コンプリートしたってよ～ポケモンGOと地域活性化の可能性を探ろう～」を開催します！

世界中の人々を熱狂の渦に巻き込んだ「ポケモンGO」。日本に上陸してわずか17日でポケモン図鑑をコンプリートしたURCの中島賢一調整係長より、ポケモンGOによる地域活性化の事例を紹介しつつ、福岡のまちおこしにどうつながっていくのかを皆さんと一緒に考えます。

あわせて福岡でコンプリートした極意もこっそり伝授します。

開催日時は、10月11日火曜日18時15分から1時間

◆URCニュース

①第3回市民フォーラム「源氏物語と鴻臚館」が開催されます！

第3回 市民フォーラム 2016
源氏物語と鴻臚館
唐物ブランドが創った王朝文化

10月1日(土)
13:30～16:30
福岡市役所15F大講堂

定員400名(申し込み) 入場無料
資料希望者600円

源氏物語関連「朝倉」 石山寺蔵
鴻臚館唐物交易 室川 康男 氏

河添 房江氏
皆川 雅樹氏
講演とトーク

主催：福岡城・鴻臚館を活かした観光都市戦略実行委員会
(福岡団体) 福岡市 福岡商工会議所 (社)福岡青年会議所 (公財)福岡観光コンベンションビューロー
(公財)福岡アジア都市研究所 (公財)福岡国際会議場 (公財)福岡国際センター (公財)福岡国際ホテル (株)福岡銀行 (株)ホークスタウン (NPO)福岡市民の会 九州電力(株) 西日本鉄道(株) (株)福岡
共催：NHK福岡放送局

URCが構成団体の一つを務める福岡城・鴻臚館を活かした観光都市戦略実行委員会が、10月1日土曜日13:30から16:30まで「第3回市民フォーラム2016 源氏物語と鴻臚館—唐物ブランドが創った王朝文化—」を福岡市

- ◆特別寄稿「釜山に残る日本建築「東萊別荘（迫間房太郎別邸）」調査団参加報告・・・3
- ◆今月のおすすめ『TOYO ITO 2002-2014 伊東豊雄の建築2』・・・3
- ◆URCメディア紹介情報・・・4
- ◆「資料速報 平成28年8月受入分」・・・別添

半程度、場所は福岡市役所1階多目的スペースです。定員40名で、メール(library@urc.or.jp)またはFAX(092-733-5680)でお申し込みください。参加費は無料です。多くのご参加をお待ちしています。

(山崎三枝 司書)

役所15階講堂で開催します。

「源氏物語には舶来品がふんだんに出てくる。青磁、ガラス、綾錦、香料からペットまで。鴻臚館の唐物が王朝文化と人間模様、王権政治に深くかかわっていた。源氏物語と鴻臚館を深く理解すれば、双方の興味が倍加する。鴻臚館が都と直結して、古代・中世の唐物交易や、おしゃれで高級な日本文化の開花と国家の形成に果たした役割は大きい。セントラルパーク計画でどうディスプレイしたらいいか。」という開催趣旨に基づき、河添房江・東京学芸大学教育学部教授に「光源氏が愛した唐物文化」を、皆川雅樹・産業能率大学経営学部准教授に「古代国際交流と鴻臚館」を講演していただきます。

その後のパネルトークでは、石井幸孝委員長の進行のもと、講師のお二人に「唐物文化と鴻臚館の素晴らしさ」

を大いに語っていただきます。

詳しくは、URC入り口そばのパフレットボックスや資料室でチラシを布置していますので、ご覧ください。

お申込は、URCではありません。

メール(info@fukuoka-oshiro.com)またはファックス(092-716-8254)で、お問い合わせは、

事務局(092-716-8238)までお電話ください。

定員は400名、ご参加は無料ですが、資料をご希望の方には500円で販売いたします。

多くのご参加をお待ちしています。

(山崎三枝 司書)

②久保隆行上席主任研究員が日本建築学会大会で登壇しました！

8月25日木曜日、福岡大学にて行われた日本建築学会大会の都市計画部門の研究協議会「グローバルな人口流動と都市デザイン」に、URCの久保隆行上席主任研究員がコメンテーターとして出席し、総合研究についてのプレゼンテーションを行いました。

協議会では、シンガポールやEU諸国での、人口流動や社会交流といった空間的動きをどう行政がデザインしガバナンスしているかについての報告がなされ、それに類した日本国内での官民それぞれによる様々な活動の実態が紹介されました。

その中で久保研究員は、福岡市におけるグローバル化の推進状況を説明し、その新たな人口流動をどう地域の文化的多様性に結びつけるかが重要であると、URCの研究をもって示しました。

また、その後の質疑応答で今後の都市デザインにおいて



肝要なテーマはなにかという質問を受け、モビリティと交流の濃度を挙げ、教育施設や文化施設と公共交通機関との接続が未だ理想的とはいえない福岡市の課題を述べました。

写真出典：URC撮影（滝本一馬 研究スタッフ）

③国際研修受け入れ報告

その1 東アフリカのウガンダ出身の Tim Kibira (ティム キビラ) さんを応援します！

8月10日水曜日、JICAの視察・研修の日程に合わせて、ウガンダ出身の Tim Kibira (ティム キビラ) さんがクリーンパーク・臨海工場の視察・研修に参加しました。ティムさんは福岡市に在住しています。先進的なゴミ処理方式を学ぶことで、母国のゴミ問題に対して解決策を提案できる国民になりたいという強い思いを持っています。母国の発展のため、先進国の技術とノウ

ハウを学ぼうとする小さな個人の思いが、やがてゴミ問題が解決し、ウガンダの発展につながるようなバタフライ効果となるよう期待します。



その2 タイのチェンマイから16名の方が福岡市国際視察研修に参加しました！！

8月26日金曜日・30日火曜日、福岡市の都市づくりの先進事例を学ぶために、来福したタイのチェンマイ大学訪問団(16名)は、福岡市の住宅都市局から都市計画に関する講義を受け、アイランドシティを視察しました。今回の視察研修を通して学んだことが、母国での事業実施の参考になることを期待します。



写真出典：URC撮影（李英雄 国際視察研修担当）

◆特別寄稿 釜山に残る日本建築「東萊（トンネ）別荘（迫間房太郎別邸）」調査団に参加しました。ーきっかけと出会いに感謝！ー

今回の「東萊別荘（迫間房太郎別邸）」調査訪問(平成28年7月21日から23日)は私がURC在籍時(平成20年3月)に書いた調査研究「釜山における日本建築物等の利用実態と評価に関する研究」が、きっかけと聞き大変うれしく名誉なことだと感激している。「東萊別荘」は木津宗詮さんの先代3代目作である。

思えば平成20年7月、木津さんから「父が、あなたの論文を読んで「東萊別荘」が登録文化財を撤回し、いずれ都市計画で無くなると知り嘆いている。現況を知りたいので協力をお願いしたい」旨の連絡が入り、私の研究でお世話になった釜山の韓国海洋大の教授等を紹介し、同行を依頼したのを覚えている。その後も木津さんは幾度か調査に行かれたようだ。



私は人事異動もあり、しばらくは釜山も研究のことも忘れていたが、今年6月、木津先生さんから「枕元に3代目が現れ別荘の行く末を案じていた。8月には壊されると聞いた。」と連絡が入り、8年前よりさらに「東萊別荘」保存への情熱と執念がパワーアップした木津さんの来福もあり、多種多様な専門職集団約20名の一員として同行させていただいた。

訪問前は、連絡のやり取りの不手際もあり、調査実施

◆今月のおすすめ

『TOYO ITO 2002-2014 伊東豊雄の建築2』TOTO 出版 2014.10 発行

足しげくURCに通っている。

目的は建築雑誌。僕はテクニカルな「日経アーキテクチャ」より、世界中のエッジがきいた建築デザインを集めている「a+u」や、日本の建築家を特集している「新建築」の方を好んで手に取っている。

僕は建築のセンスって大切だと思うので、雑誌を見て実物に想いを馳せることは仕事だと真面目に考えているんだけど、実際の建築行政の中では、デザインのプライオリティは高くないし、逆にウザイと思われている節

が不安視されたこともあったが、山崎司書の知り合いで偶然来福してきた徐さん



を紹介してもらい、間に立っていただいたことで随分友好的なものになった。山崎司書は、先方とのやり取りがうまくいっていないことを聞いて、「是非徐さんを紹介したい!」と思ったけれど、電話でしか連絡が取れず、電話で話すには濃すぎる内容だったため諦めていたそう。そんなとき、徐さんが7月11日から娘さんを伴って九州・福岡に遊びに来ると連絡してきてくれ、「これは運命だ!」と思って私に紹介したそう。徐さんには現地で本当にお世話になった。

今回は同じ研究を行っていた大学生の参加も重なり、調査団全員が一団となって踏査し記録・記憶した。この調査記録は、後日、本として出版される予定である。

後は、少しでも多くの部分が残存できるようにと心から願うばかりである。

写真出典：木津宗隆「迫間邸」グループ撮影
福岡市職員 (URC OB) 小牧 重己

木津宗詮さんについて

ト深庵木津家は、初代松斎宗詮が武者小路千家官休庵八代家元一啜齋に入門して立てられた茶家です。松斎以来、200年にわたり歴代の宗詮により、利休居士によって大成された武者小路千家の茶道の道統を継承、伝播してまいりました。[\(http://bokushinan.com/より引用\)](http://bokushinan.com/)

この方は7代目に当たられます。

がある。「無駄に高い」「使いにくい」「陳腐化」などのネガティブな言葉が周到に準備されている中で、デザインの力を語る人は、庁内にどれだけのいるのかな。

建築のデザインってすごいって思う感性を大切に育てたいし、仕事でも発揮できるようになりたいな。デザインの視点で街を再構築している横浜市がちょっと羨ましい。なーんて、資料室で一人つぶやいてみたり。

そんな折に、建築デザインをリサーチする機会に恵ま

れた僕はついてるっばい。

URCの本棚には古い建築作品集しかなかったの、山崎司書に相談し、この本を蔵書に加えていただきました。(感謝!)

建築家・伊東豊雄。「せんだいメディアテーク」「まつもと市民文化会館」「座・高円寺」などが有名だけど、アイランドシティの「ぐりんぐりん」も彼の作品(福岡市が所謂建築家に発注した稀有な例)だ。最近、完工した「みんなの森 ぎふメディアコスモス」は、これまでとは異なる新しいスタイルで、一目で好きになってしまったけど、年代ごとに生み出すデザインが変わり続けているのも、伊東氏の魅力かもしれない。著書の中で「チャレンジの連続」と綴ってるけど、常に新境地に挑むって、並大抵のことじゃないんだろうな。

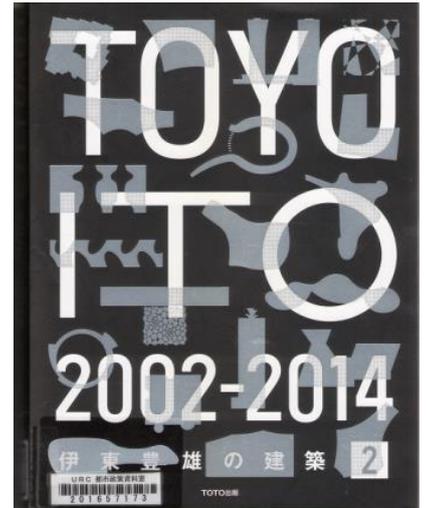
それと、この本では作風の変化もさることながら、活躍の舞台が世界に移っていく様もよくわかる。ヨーロッパは建築に大きな価値を与えているし、都市化が進むアジアでは、良質な建築への期待が大きい。それに対して日本には作品のことを理解してくれるクライアント、特に公共のクライアントが少ないらしい。これって残念なことだと思う。

建築家に負けないくらいクライアントも頑張らないとプロジェクトは生まれないわけで、クライアント側にいる僕は果たして頑張っているのだろうかと自問してしまう。伊東氏のような建築家に夢を託す力量を度量を持てるように頑張りたい。

今秋、伊東氏のてがけた台湾の台中国立歌劇院がオープンします。

世界でもっともユニークなホール。あまりにも突飛な建築デザイン過ぎて、ようやく実現にたどり着いたこの建物は、建築の歴史に名を残すんだろうな。格安航空券を使えば、3万程度でいけるみたい。どなたか一緒に行きませんか？

(住宅都市局みどりのまち推進部みどり政策課 野元和也氏)



◆URCメディア紹介情報—最近1か月の情報を中心に—

◎新聞

(2016/8/24 京都新聞 朝刊 18p)

舞鶴の魅力 創作に生かせ 全国の芸術から15日間滞在 きょう公開ワークショップ

市民研究員 OB 藤浩志さんがアドバイス

(2016/8/12 西日本新聞 朝刊 15p)

オピニオン 意見・見識・見解 地域づくりの主役を育てよう 大学生と地方創生

URC OG 山下永子九州産業大学准教授が執筆

(2016/8/6 日本海新聞 24p)

基本方針策定委 鳥取で初会合 県東部と北但西部広域観光を加速へ

URC OB 新井直樹鳥取環境大学准教授が、「鳥取因幡・北但西部観光グランドデザイン」を取りまとめる策定委員長を務め、意見交換を行う。

(2016/8/3 中日新聞 朝刊 25p)

特報「世界遺産」何のため 観光客増 自治体期待 保全の責任後回し? 三保松原「遊歩道整備」で物議「危機遺産」登録除外も

URC OB 新井直樹鳥取環境大学准教授が、コメント

(2016/8/1 東京新聞 朝刊 29p)

こちら特報部 観光が世界遺産の脅威に 保護・保存が目的のはずなのに…(下)屋久島客増えすぎ踏み荒らし(白川郷)景観そぐわぬ駐車場、(エルベ溪谷)登録未梢 問われる保全の覚悟

URC OB 新井直樹鳥取環境大学准教授が、コメント

◎雑誌

(2016/9/15 都市計画 322 Vol.65 No.4)

94p 2015年度日本都市計画学会賞(石川賞)福岡天神におけるまちづくりガイドラインに基づくエリアマネジメント URC・FDC OB 後藤太一さんが受賞者の一人に選ばれる。

(2016/8 すまいろん(2016年夏号:通巻第99号)特集:リノベーションによるエリアの再生)

すまい再発見:人と建物の幸せな関係を考える—進化し続ける博多のビンテージビル・冷泉荘から見えるもの 市民研究員 OB 吉原勝己さんが共著

◎ラジオ

(2016/8 毎週金曜日 ローカルラジオ放送こみてん 18:00~18:25) スポガで Ready Bowl!!

市民研究員 OB 吉田勝さんがパーソナリティを務める。

◎Web

(2016/8/1 東洋経済オンライン)

福岡の「水辺改革」始動、第1段はここが面白い/地味な存在だった「水上公園」が一変!

水辺改革に、主体的に関わる組織として福岡地域戦略推進協議会(FDC)が紹介される。